

## 平成13年度東京都病院会計決算審査意見書

### 第1 審査の概要

- 1 審査の対象 病院経営本部
- 2 審査の手続

この決算審査に当たっては、知事から提出された決算書類が病院事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかどうかを検証するため、会計帳票、証拠書類の照合等通常実施すべき審査手続を実施したほか、必要と認めるその他の審査手続を実施した。

ついで、本事業の経営内容の動向を把握するため計数の分析を行い、経済性の発揮及び公共性の確保を主眼として考察した。

さらに、今年度の審査においては、病院事業の効率的な執行のための努力が十分に図られているか、院内保育室の運営状況を特定審査事項として特に設定し、評価を行った。

- 3 審査の期間 平成14年6月3日から同年8月23日まで

### 第2 審査の結果

- 1 決算諸表について

審査に付された決算諸表は、病院事業の経営成績及び財政状態を、適正に表示しているものと認められる。

- 2 事業の全体に関する事項について

当年度においての年間延患者数は、入院では前年度に比較して2万8,330人減少し、21万2,411人、外来では前年度に比較して7万1,046人増加し、295万7,756人である。

収支状況は、医業損益では、昨年度と比較して3億余円改善し411億余円の損失となっているが、医業外損益での413億余円の利益により、2億余円の純利益を計上している。

- 3 特定審査事項について

- ・院内保育室の運営状況について

#### (1) 事業の概要

本事業は、看護職員の確保対策及び勤務条件の整備を目的とし、東京都立病院院内保育室設置運営要綱に基づき、看護職員の乳児及び幼児（以下「乳幼児」という。）を保育の対象として、都立病院に院内保育室（以下「保育室」という。）を設置し、2社会福祉法人に業務運営を委託し、実施しているものである。

保育の対象は、原則として、産休及び育児休業明けの看護職員の2歳未満の乳幼児で、各病院からの需要予測に基づき想定乳幼児数を算定し、これを基礎に委託契約が行われ、事業が運営される。平成13年度において、この事業に要する直接経費は、保育室業務運営委託料2

億7,175万500円であり、収入は、1人月1万8,000円の保育料で、1,513万8,000円となっており、直接経費から収入を引いた2億5,661万2,500円が当該事業の費用となっている。このため、事業の効率性が確保されているかの観点から検証するものである。

## (2) 審査の結果

今回の審査に当たっては、事業が効率的に運営されているか、利用者の負担は適切なものとなっているか、を視点として検証した。

平成13年度においては、表1のと通りの保育室が設置、運営されており、想定と実績の対比は、表2のとおりである。全体の想定乳幼児数延べ月1,609人に対し実績は延べ月893人(55.5%)となっている。

保育所を運営するに当たっては、児童福祉施設最低基準第33条第2項(厚生省令第63号、昭和23年12月29日)によれば、「保育士の数は、乳児おおむね3人に1人以上、満1歳以上満3歳に満たない幼児おおむね6人につき1人以上、- - - - ただし、保育所1につき2人を下ることはできない」、とされている。

この基準の下に、当該保育室業務運営委託契約は、想定乳幼児数を基準に配置保育士数を算定し、委託料が積算される。ところで、想定乳幼児数と実績乳幼児数の差について保育士数を試算すると、表2のとおり、2箇所の保育室の常勤保育士各1名及びパート保育士のかなりの部分が過大となっている。

また、必ず2名保育士が配置されることで、乳児でも6名まで保育できるにもかかわらず、乳幼児数が最大の月でもこれに満たない保育室が5室ある。中には、2名、3名の保育室もあり、効率性が確保されていない状態にある。

院内保育料は、特別区の保育所の保育料を準用し、平成元年に現行の1万8,000円に改定されている。しかしながら、当該改定の基準となった特別区の保育料が、平成9年4月以降に37パーセント強値上げされたにもかかわらず、据え置かれたままになっている。

本部は、実績と乖離している乳幼児数想定方法の工夫を行うなど、保育実績を反映する契約内容への見直しが必要である。また、適正な利用者負担を求めるため、保育料の改定を検討する必要がある。

なお、平成13年度から、府中キャンパス内の府中病院、神経病院及び府中療育センターの保育施設を府中病院の保育室に統合、運営したことで、一部改善は見られるが、病院事業の効率的な執行のため一層の努力を図る必要がある。

(表1) 病院別保育室の設置及び保育実績の状況

施設名	面積 (㎡)	設 置 年 月 日	定員 (人)	年間保育日 数(日)	延乳幼児 数(人)	一日平均 (人)	一月最大 (人)
広尾病院	140.00	昭和55.10.1	15	251	706	2.8	7
大久保病院	76.60	平成6.4.1	11	256	342	1.3	4
大塚病院	186.04	昭和62.10.1	13	271	1,156	4.3	10
駒込病院	215.52	昭和50.9.1	25	263	1,437	5.5	21
豊島病院	248.58	平成10.7.28	16	277	819	3.0	10
荏原病院	226.30	平成7.4.1	12	250	640	2.6	8
墨東病院	320.53	昭和49.7.23	22	282	1,452	5.1	11
府中・神経病院	363.32	平成10.12.1	40	293	3,315	11.3	29
清瀬小児病院	161.82	昭和50.3.31	13	206	473	2.3	7
八王子小児病院	68.04	平成元.3.13	7	260	499	1.9	5
松沢病院	303.65	平成7.6.30	15	278	816	2.9	5
梅ヶ丘病院	242.40	昭和61.3.31	18	260	362	1.4	3
母子保健院	64.03	昭和49.10.31	6	95	129	1.4	2
計	2,616.83	-	213	3,242	12,146	45.8	122

(表2) 想定・実績対比

施設	想定乳 幼児数人	実績乳 幼児数人	想定積算配置保育士数		実績算定配置保育士数		想定 - 実績	
			常勤人	パート 月	常勤人	パート 月	常勤人	パート 月
広尾	110	48	2	6	2	0	0	6
大久保	57	24	2	0	2	0	0	0
大塚	120	81	3	2	2	1	1	1
駒込	218	136	4	5	4	4	0	1
豊島	87	53	2	4	2	2	0	2
荏原	95	46	2	3	2	0	0	3
墨東	224	101	4	0	3	0	1	0
府中・神経	362	234	5.25	13.5	5.25	5.25	0	8.25
清瀬小児	88	41	2	1	2	0	0	1
八王子小児	48	43	2	0	2	0	0	0
松沢	94	49	2	2	2	0	0	2
梅ヶ丘	25	25	2	0	2	0	0	0
母子保健院	81	12	2	1	2	0	0	1
計	1,609	893	34.25	37.5	32.25	12.25	2	25.25

(注) 1 想定乳幼児数及び実績乳幼児数は、延べ月数である。

(注) 2 府中・神経は、府中療育センター(一般会計)との按分があるので端数が出る。

### 第3 経営状況の概要について

#### 1 経営成績について

##### (1) 業務実績について

平成13年度の病院事業は、普通病院9、小児病院2、精神病院2、母子保健院の計14病院において、病床数6,524床の施設規模により運営され、年間延べ患者数は、入院で212万8,241人、外来で295万7,756人となっている。

##### ア 入院患者実績について

当年度の入院患者実績は、表3のとおり、212万8,241人で、前年度(215万6,571人)と比較して2万8,330人減少している。

これは主として、広尾病院の病棟改修工事の実施に伴う一部病棟の休止などが影響したものである。

(表3) 入院患者の実績比較

区 分	平成13年度						平成12年度				対前年度比較(増減)			
	病 床 数床	予 定		実 績		実 績B/A 率%	病 床 数床	実 績		実 績 率%	病 床 数床	実 績		実 績 率 ポイ ト
		1日 人	年延べ A 人	1日 人	年延べ B 人			1日 人	年延べ 人			1日 人	年延べ 人	
普通病院	4,569	4,314	1,574,424	4,170	1,521,962	96.7	4,573	4,229	1,543,845	98.3	4	59	21,883	1.6
広尾	322	291	106,215	278	101,456	95.5	326	294	107,250	103.8	4	16	5,794	8.3
大久保	300	285	104,025	257	93,967	90.3	300	266	96,910	93.2	0	9	2,943	2.9
大塚	500	475	173,375	461	168,358	97.1	500	470	171,713	99.0	0	9	3,355	1.9
駒込	801	770	281,050	715	260,629	92.7	801	736	268,699	95.6	0	21	8,070	2.9
豊島	360	331	120,815	312	113,810	94.2	360	308	112,352	93.0	0	4	1,458	1.2
荏原	500	469	171,185	452	165,213	96.5	500	451	164,802	96.3	0	1	411	0.2
墨東	729	692	252,394	696	254,036	100.7	729	702	256,378	101.7	0	6	2,342	1.0
府中	761	720	262,800	711	259,389	98.7	761	715	260,811	99.2	0	4	1,422	0.5
神経	296	281	102,565	288	105,104	102.5	296	287	104,930	102.3	0	1	174	0.2
小児病院	345	292	106,580	268	97,964	91.9	345	282	103,053	96.7	0	14	5,089	4.8
清瀬	255	211	77,015	187	68,363	88.8	255	202	73,925	96.0	0	15	5,562	7.2
八王子	90	81	29,565	81	29,601	100.1	90	80	29,128	98.5	0	1	473	1.6
精神病院	1,500	1,378	502,970	1,297	473,305	94.1	1,500	1,295	472,368	93.9	0	2	937	0.2
松沢	1,258	1,173	428,145	1,089	397,243	92.8	1,258	1,084	395,510	92.4	0	5	1,733	0.4
梅ヶ丘	242	205	74,825	208	76,062	101.7	242	211	76,858	102.7	0	3	796	1.0
母子保健院	110	100	36,500	96	35,010	95.9	110	102	37,305	102.2	0	6	2,295	6.3
合 計	6,524	6,084	2,220,474	5,831	2,128,241	95.8	6,528	5,908	2,156,571	97.3	4	77	28,330	1.5

(注) 1 病床数は、各年度末の病床数である。

次に、病床種別の病床数及び病床利用率は、表4のとおり、病床数は、前年度に比較し、4床の減少であり、病床利用率は、入院患者が2万8,330人減少し、1.1ポイントの低下となっている。

なお、精神病床の減少は、広尾病院の改修に伴うものである。

(表4) 病床種別の病床数及び病床利用率比較

区分	平成13年度					平成12年度				前年度比較(増減)			
	病床数	年間病床数 A床	実績		利 用B/A 率%	病床数	実績		利 用率%	病床数	実績		利 用率 ポイント
			1日 人	年延べ B人			1日 人	年延べ 人			1日 人	年延べ 人	
普通 病床	4,698	1,714,770	4,313	1,573,987	91.8	4,698	4,398	1,605,415	93.6	0	85	31,428	1.8
精神 病床	1,680	613,200	1,466	535,203	87.3	1,684	1,453	530,213	86.3	4	13	4,990	1.0
結核 病床	86	31,390	51	18,675	59.5	86	57	20,706	66.0	0	6	2,031	6.5
感染症 病床	60	21,900	1	376	1.7	60	0	237	1.1	0	1	139	0.6
計	6,524	2,381,260	5,831	2,128,241	89.4	6,528	5,908	2,156,571	90.5	4	77	28,330	1.1

(注)1 病床数は、各年度末の病床数である。

(注)2 年間病床数とは、年度末病床数×365日で算出したものである。

(注)3 精神病床は、広尾・豊島・荏原・墨東・府中・神経・松沢・梅ヶ丘の各病院に、結核病床は、府中・清瀬小児の各病院に、感染症病床は、駒込・豊島・荏原・墨東の各病院にある。

#### イ 外来患者実績について

当年度の外来患者実績は、表5のとおり、295万7,756人で、前年度(288万6,710人)と比較して7万1,046人増加している。

(表5) 外来患者の実績比較

区 分	平成 1 3 年 度					平成 1 2 年 度			対前年度比較(増 減)		
	予 定		実 績		実 績 B/A 率 %	実 績		実 績 率 %	実 績		実 績 率 ポイント
	1 日 人	年 延 べ A 人	1 日 人	年 延 べ B 人		1 日 人	年 延 べ 人		1 日 人	年 延 べ 人	
普通病院	8,418	2,460,907	8,970	2,628,284	106.8	8,699	2,557,381	103.8	271	70,903	3.0
広尾	925	271,025	893	261,659	96.5	943	277,330	102.0	50	15,671	5.5
大久保	600	175,800	659	193,140	109.9	678	199,168	112.9	19	6,028	3.0
大塚	880	257,840	1,068	312,870	121.3	1,061	311,875	120.5	7	995	0.8
駒込	1,275	373,575	1,350	395,599	105.9	1,246	366,373	97.7	104	29,226	8.2
豊島	700	205,100	631	184,714	90.1	563	165,607	80.5	68	19,107	9.6
荏原	900	263,700	1,078	315,961	119.8	1,057	310,805	117.5	21	5,156	2.3
墨東	1,638	474,367	1,540	451,333	95.1	1,468	431,556	91.7	72	19,777	3.4
府中	1,480	433,640	1,722	504,419	116.3	1,648	484,335	111.3	74	20,084	5.0
神経	20	5,860	29	8,589	146.6	35	10,332	175.7	6	1,743	29.1
小児病院	390	114,270	455	133,207	116.6	439	129,086	112.6	16	4,121	4.0
清瀬	260	76,180	309	90,442	118.7	303	89,094	116.6	6	1,348	2.1
八王子	130	38,090	146	42,765	112.3	136	39,992	104.6	10	2,773	7.7
精神病院	473	138,589	491	143,704	103.7	497	146,217	105.1	6	2,513	1.4
松沢	370	108,410	355	103,876	95.8	362	106,455	97.9	7	2,579	2.1
梅ヶ丘	103	30,179	136	39,828	132.0	135	39,762	131.3	1	66	0.7
母子保健院	220	64,460	179	52,561	81.5	184	54,026	83.5	5	1,465	2.0
合 計	9,501	2,778,226	10,095	2,957,756	106.5	9,819	2,886,710	103.8	276	71,046	2.7

## ウ 受託事業実績について

受託事業は、児童福祉法（昭和22年法律第164号）に基づく措置児（乳児）の受入れを行うものであり、母子保健院において実施している。

当年度の実績は、表6のとおり、1万3,468人で、前年度（1万1,900人）と比較して1,568人増加している。

(表6) 受託事業の実績比較

区 分	平成 1 3 年 度						平成 1 2 年 度			対前年度比較		
	入所 定員人	予 定 人		実 績 人		実績率 B/A %	実 績 人		実績率 %	増( )減 人		実績率 ポイント
		1 日	年延べ A	1 日	年延べ B		1 日	年延べ		1 日	年延べ	
母子保健院	50	45	16,425	37	13,468	82.0	33	11,900	67.9	4	1,568	14.1

( 2 ) 収支状況について

当年度の収支状況は、表7（詳細は、別表1比較損益計算書）のとおり、総収益は1,502億余円、総費用は1,499億余円で、差引き2億余円の純利益を計上している。

損益の状況は、表8のとおりであり、医業損益では、損失が前年度（414億余円）と比較して3億余円（0.9%）減少し、411億余円となっている。

一方、医業外損益では、利益が前年度（420億余円）と比較して6億余円（1.5%）減少し、413億余円となっている。

この結果、経常損益では、利益が前年度（5億余円）と比較して2億余円（53.5%）減少し、2億余円となっている。

なお、各病院の医業収益、医業費用及び医業収益対医業費用比率の状況は、別表3（病院別医業収益・費用の対前年度比較）のとおりである。

( 表 7 ) 経営成績の比較

( 単位：百万円、% )

区 分	平成13年度 ( A )	平成12年度 ( B )	増 ( ) 減		
			差 引 ( C = A - B )	増 減 率 ( C/B × 100 )	
収 益	医 業 収 益 ( a )	100,683	99,230	1,453	1.5
	医 業 外 収 益 ( b )	49,541	50,262	721	1.4
	特 別 利 益 ( c )	0	4,203	4,203	-
総 収 益 ( d=a+b+c )		150,224	153,696	3,472	2.3
費 用	医 業 費 用 ( e )	141,814	140,720	1,094	0.8
	医 業 外 費 用 ( f )	8,160	8,237	77	0.9
	特 別 損 失 ( g )	0	447	447	-
総 費 用 ( h=e+f+g )		149,975	149,404	571	0.4
純利益( 純損失) ( d-h )		249	4,291	4,042	94.2

(表8) 損益収支の比較

(単位：百万円、%)

区 分	平成13年度 (A)	平成12年度 (B)	増 ( ) 減	
			金 額 (C = A - B)	増 減 率 (C/B × 100)
医 業 収 益	100,683	99,230	1,453	1.5
医 業 費 用	141,814	140,720	1,094	0.8
医 業 損 益	41,131	41,489	358	0.9
医 業 外 収 益	49,541	50,262	721	1.4
医 業 外 費 用	8,160	8,237	77	0.9
医 業 外 損 益	41,380	42,025	645	1.5
経 常 損 益	249	535	286	53.5
特 別 利 益	0	4,203	4,203	-
特 別 損 失	0	447	447	-
特 別 損 益	0	3,755	3,755	-
純 損 益	249	4,291	4,042	94.2

## ア 収益について

当年度の総収益は、表9のとおり、1,502億余円で、前年度(1,536億余円)と比較して34億余円(2.3%)減少している。

このうち、医業収益は1,006億余円で、前年度(992億余円)と比較して14億余円(1.5%)増加している。

これは主として、外来患者の増加により、外来収益が増加したことによるものである。

医業外収益は495億余円で、前年度(502億余円)と比較して7億余円(2.5%)減少している。

これは主として、一般会計補助金が9億余円減少したことによるものである。

なお、一般会計補助金の内訳は、表10のとおりである。

(表9) 収益の内訳比較

(単位：百万円、%)

区 分	平成13年度 (A)	平成12年度 (B)	増( )減	
			金額 (C=A-B)	増減率 (C/B×100)
医業収益	100,683	99,230	1,453	1.5
入院収益	72,528	72,194	334	0.5
外来収益	26,275	25,107	1,168	4.7
その他医業収益	1,879	1,928	49	2.5
医業外収益	49,541	50,262	721	1.4
受取利息及配当金	2,852	2,539	313	12.3
一般会計補助金	43,554	44,458	904	2.0
国庫補助金	277	289	12	4.2
その他医業外収益	2,857	2,974	117	3.9
特別利益	0	4,203	4,203	-
総収益	150,224	153,696	3,472	2.3

(表10) 一般会計補助金の内訳比較

(単位：百万円)

区 分	平成13年度	平成12年度	増( )減
救急医療経費	4,813	4,518	295
精神病院運営経費	6,963	6,705	258
ターミナル・ケア医療経費	228	225	3
小児(乳児)専門病院運営経費	420	542	122
保健衛生行政経費	921	1,987	1,066
高度医療経費	10,540	10,812	272
特殊医療経費	15,087	14,846	241
建設又は改良に要する経費	4,578	4,818	240
合 計	43,554	44,458	904

イ 費用について

当年度の総費用は、表 1 1 のとおり、1,499 億余円で、前年度（1,494 億余円）と比較して 5 億余円（0.4%）増加している。

このうち、医業費用は 1,418 億余円で、前年度（1,407 億余円）と比較して 10 億余円（0.8%）増加している。

これは主として、資産減耗費が 3 億余円減少したものの、給与費が 13 億余円増加したことによるものである。

医業外費用は 81 億余円で、前年度（82 億余円）と比較して 7,700 万余円（0.9%）減少している。

なお、給与費・職員数等については表 1 2 のとおりである。

（表 1 1）費用の内訳比較

（単位：百万円、%）

区 分	平成 1 3 年度 (A)	平成 1 2 年度 (B)	増 ( ) 減	
			金 額 (C = A - B)	増 減 率 (C/B × 100)
医 業 費 用	141,814	140,720	1,094	0.8
給 与 費	73,816	72,494	1,322	1.8
材 料 費	27,590	27,246	344	1.3
経 費	25,953	26,091	138	0.5
減 価 償 却 費	13,501	13,580	79	0.6
資 産 減 耗 費	239	605	366	60.5
研 究 研 修 費	713	702	11	1.6
医 業 外 費 用	8,160	8,237	77	0.9
支 払 利 息 及 企 業 債 取 扱 諸 費	4,578	4,818	240	5.0
繰 延 勘 定 償 却	383	365	18	4.9
雑 支 出	3,198	3,053	145	4.7
特 別 損 失	0	447	447	-
総 費 用	149,975	149,404	571	0.4

(表12) 給与費明細の比較

(単位：千円、人)

区 分	平成13年度	平成12年度	増( )減
給 料	29,153,075	29,023,200	129,875
職 員 手 当	27,129,311	27,175,776	46,465
退 職 給 与 金	4,559,059	4,071,838	487,221
報 酬	3,499,388	3,232,701	266,687
賃 金	727,967	695,051	32,916
法 定 福 利 費	8,747,940	8,295,597	452,343
計	73,816,743	72,494,165	1,322,578
職 員 数	7,363	7,391	28
平 均 年 齢	38.2歳	37.8歳	0.4歳
職員1人当たり給与費	7,645	7,571	74

(注) 1 職員数及び平均年齢は、年度末現在である。

(注) 2 職員1人当たり給与費は、(給料+手当)÷月当たり平均職員数である。

(注) 3 職員は、すべて損益勘定部門に所属している。

以上の結果を事業の収益性を示す経営比率で見ると、表13のとおりである。

なお、経営指標としての自己収支比率(病院事業収益(一般会計補助金及び特別利益を除く。)÷病院事業費用(特別損失を除く。))は、都立病院全体で、71.1%と前年度に比較して0.6ポイント増加している。これは主として、医業収益が1.5%増加した一方、医業費用が0.8%の増加にとどまったことによるものである。

(表13) 経営比率の推移

項 目	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	算 式
経 営 資 本 営業利益率(%)	27.7	16.7	22.4	20.3	19.9	$\frac{\text{営業利益}}{\text{経営資本}}$
営 業 収 益 営業利益率(%)	46.1	43.7	48.7	41.8	40.9	$\frac{\text{営業利益}}{\text{営業収益}}$
総 費 用 対 総収益比率(%)	98.7	99.3	99.7	97.2	99.8	$\frac{\text{総費用}}{\text{総収益}}$
自己収支 比率(%)	69.4	70.1	67.5	70.5	71.1	
	病院全体					
	総合病院	73.8	75.0	70.6	74.4	74.0

(注) 経営資本 = 総資本 - (建設仮勘定 + 投資 + 繰延勘定)

## 2 財政状態について

### (1) 資本的収支について

資本的収支については、表14のとおりであり、当年度における資本的収入は、32億余円で前年度(36億余円)と比較して3億余円(9.6%)減少している。

これは主として、企業債収入が3億余円(9.1%)減少したことによるものである。

一方、資本的支出は172億余円で、前年度(140億余円)と比較して32億余円(23.0%)増加している。

これは、企業債償還金が5億余円(7.9%)減少したものの、病院改修工事等の建設改良費が38億余円(56.5%)増加したことによるものである。

(表14) 資本的収支比較表

(単位：百万円、%)

区 分	平成13年度 (A)	平成12年度 (B)	増 ( ) 減		
			金 額 (C=A-B)	増 減 率 (C/B×100)	
資 収 本 的 入	企 業 債	3,245	3,569	324	9.1
	国 庫 補 助 金	25	37	12	32.4
	固 定 資 産 売 却 収 入	0	16	16	100
	そ の 他 資 本 収 入	8	2	6	300
	計	3,278	3,625	347	9.6
資 支 本 的 出	建 設 改 良 費	10,539	6,735	3,804	56.5
	企 業 債 償 還 金	6,690	7,267	577	7.9
	計	17,230	14,003	3,227	23.0
差 引 資 本 的 収 支	13,952	10,377	3,575	34.5	

### (2) 資産、負債及び資本について

当年度末の資産、負債及び資本の状況は、別表2比較貸借対照表のとおりである。

資産合計は、2,213億余円で、前年度(2,201億余円)と比較して12億余円(0.5%)増加している。

これは主として、現金預金が9億余円増加したことにより流動資産が11億余円増加したことによるものである。

負債合計は、175億余円で前年度(140億余円)と比較して34億余円(24.3%)増加している。

これは主として、未払金が34億余円増加したことにより流動負債が34億余円増加したものである。

資本合計は、2,038億余円で、前年度(2,060億余円)と比較して22億余円(1.1%)減少している。

これは、資本金が8億余円増加したものの剰余金が30億余円減少したことによるものである。資本金の増加は、借入資本金が34億余円減少したものの、自己資本金が42億余円増加したことによるものである。剰余金の減少は、資本剰余金が職員住宅の無償譲渡を受けたことなどにより9億余円増加したものの、利益剰余金が40億余円減少したことによるものである。

次に、当年度における有利子負債及び支払利息の状況は、表15のとおりであり、有利子負債については、当年度において企業債を新たに32億余円発行したものの、66億余円償還したことにより、総額で34億余円減少している。

(表15) 有利子負債及び支払利息の状況

(単位：百万円)

区 分		平成13年度末 残高 (A)	平成13年度		平成12年度末 残高 (B)	増( )減 (A - B)
			増 加	減 少		
有利子 負 債	企 業 債	128,742	3,245	6,690	132,188	3,446
区 分		平成13年度支払額 (C)		平成12年度支払額 (D)		増( )減 (C - D)
支 払 利 息	企業債利息及び 企業債取扱諸費等	4,578		4,818		240

以上の財政状態を財務比率で見ると、表16のとおりである。

(表16) 財務比率の推移

(単位：%)

項 目	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	算 式
流 動 比 率	214.5	134.5	213.4	272.5	222.7	流動資産 流動負債
自 己 資 本 構 成 比 率	37.0	26.6	31.4	33.6	33.9	自己資本 総 資 本
固定長期適合率	88.1	90.8	90.4	87.5	88.4	固定資産 長期資本

(注) 1 自己資本 = 自己資本金 + 剰余金

(注) 2 長期資本 = 資本金 + 剰余金 + 固定負債 (他会計よりの長期借入金、特例債のみ)

(3) 資金収支について

当年度における資金の収支は、表17のとおりである。

資本的収入の総額は32億余円、これに対する資本的支出の総額は172億余円であり、資本的収支不足額は、139億余円となっている。

また、収益的収支においては、減価償却費、資産減耗費等の損益勘定留保資金等の合計116億余円が資金剰余となり、資本的収支と収益的収支を合わせた資金収支において、22億余円の資金不足となっている。

この結果、累積資金剰余額は、表18のとおり202億余円となっている。

(表17) 資金収支表

(単位：百万円)

支 出		収 入	
項 目	金 額	項 目	金 額
資本的支出		資本的収入	
建設改良費	10,539	企業債	3,245
企業債償還金	6,690	国庫補助金	25
		その他資本収入	8
計(A)	17,230	計(B)	3,278
		資本的収支資金不足額	
		(C)=(A)-(B)	13,952
		(補てん財源内訳)	
		当年度純益	249
		損益勘定留保資金	14,117
		・減価償却費	13,501
		・資産減耗費	233
		・繰延勘定償却	383
		その他	95
		消費税資本的収支調整額	39
		不動産信託受益権	2,835
計		計(D)	11,667
収益的収支資金剰余額			
(D)=(E)	(11,667)		
		当年度資金不足額	
		(F)=(C)-(E)	2,284
合 計 (A)	17,230	合 計 (B)+(D)+(F)	17,230

(表18) 累積資金推移表

(単位：百万円)

区 分	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度
当年度資金剰余( )不足額	2,586	2,047	387	6,627	2,284
累 積 資 金 剰 余 額	18,303	16,256	15,869	22,496	20,212

### 3 建設改良事業について

建設改良事業は、建設工事、改良工事、器械及備品の整備を行っており、当年度は予算額115億余円に対し、決算額105億余円で、執行率は91.0%となっており、その内訳は、表19のとおりである。

(表19) 建設改良事業執行状況

(単位：百万円、%)

区 分	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	執 行 率 (B/A×100)	不 用 額 (A - B)
建 設 工 事	593	593	100	0
改 良 工 事	7,638	6,844	89.6	794
器 械 及 備 品	3,349	3,102	92.6	247
計	11,580	10,539	91.0	1,041

#### (1) 建設工事について

建設工事は、墨東病院の病棟等改築工事であり、予算額及び決算額5億余円で執行率100%である。平成12年度からの繰越工事として駐車場及び看護宿舍等の建築工事などを実施し、平成13年6月にしゅん工した。

#### (2) 改良工事について

改良工事は、予算額76億余円に対し、決算額68億余円で執行率は89.6%となっている。

工事の主なものは、広尾病院病棟等改修工事(48億余円)及び駒込病院昇降機設備改修工事(3億余円)である。

#### (3) 器械及備品について

器械及備品は、予算額33億余円に対し、決算額31億余円で、執行率は92.6%となっている。

購入した医療器械(1億円以上)の主なものは、血管連続撮影装置2台(広尾病院及び駒込病院分)及びCTスキャナー2台(墨東病院及び府中病院分)である。

## (別表1) 比較損益計算書

(単位:円)

科 目	平成 13年度	平成 12年度	増 ( ) 減	
	金 額 (A)	金 額 (B)	金 額 (C)	増減率 C/B × 100
1 医業収益	100,683,629,843	99,230,791,918	1,452,837,925	1.5
入院収益	72,528,457,938	72,194,279,444	334,178,494	0.5
外来収益	26,275,318,016	25,107,988,021	1,167,329,995	4.6
その他医業収益	1,879,853,889	1,928,524,453	48,670,564	2.5
2 医業費用	141,814,762,989	140,720,310,122	1,094,452,867	0.8
給与費	73,816,743,606	72,494,165,223	1,322,578,383	1.8
材料費	27,590,598,835	27,246,313,993	344,284,842	1.3
経費	25,953,297,098	26,091,285,514	137,988,416	0.5
減価償却費	13,501,186,216	13,580,001,512	78,815,296	0.6
資産減耗費	239,919,999	605,776,845	365,856,846	60.4
研究研修費	713,017,235	702,767,035	10,250,200	1.5
3 医業損益 (1 - 2)	41,131,133,146	41,489,518,204	358,385,058	0.9
4 医業外収益	49,541,020,289	50,262,259,670	721,239,381	1.4
受取利息及配当金	2,852,121,922	2,539,310,852	312,811,070	12.3
一般会計補助金	43,554,566,000	44,458,167,000	903,601,000	2.0
国庫補助金	277,317,000	289,861,000	12,544,000	4.3
その他医業外収益	2,857,015,367	2,974,920,818	117,905,451	4.0
5 医業外費用	8,160,574,284	8,237,152,622	76,578,338	0.9
支払利息及企業債取扱諸費	4,578,870,811	4,818,330,861	239,460,050	5.0
繰延勘定償却	383,602,589	365,054,818	18,547,771	5.1
雑支出	3,198,100,884	3,053,766,943	144,333,941	4.7
6 医業外損益 (4- 5)	41,380,446,005	42,025,107,048	644,661,043	1.5
7 経常損益 (3+ 6)	249,312,859	535,588,844	286,275,985	53.5
8 特別利益	0	4,203,074,754	4,203,074,754	100
9 特別損失	0	447,106,812	447,106,812	100
10 特別損益 (8- 9)	0	3,755,967,942	3,755,967,942	100
11 当年度純利益 (7+ 10)	249,312,859	4,291,556,786	4,042,243,927	94.2
当年度未処分利益剰余金	249,312,859	4,291,556,786	4,042,243,927	94.2

(別表2) 比較貸借対照表

(単位:円)

科 目	平成 13年度		平成 12年度		増 ( ) 減	
	金 額 (A)	構成比 (%)	金 額 (B)	構成比 (%)	金 額 (C)	増減率 C/B × 100
固定資産	180,216,654,748	81.4	180,230,765,123	81.9	14,110,375	0.0
有形固定資産	170,087,870,159	76.9	171,489,103,477	77.9	1,401,233,318	0.8
土地	2,620,971,870	1.2	1,911,005,870	0.9	709,966,000	37.2
立木	264,637,620	0.1	265,244,431	0.1	606,811	0.2
建物	212,330,644,557	95.9	204,084,142,355	92.7	8,246,502,202	4.0
建物減価償却累計額	73,251,129,708	33.1	67,290,241,923	30.6	5,960,887,785	8.9
構築物	9,090,652,222	4.1	8,822,463,186	4.0	268,189,036	3.0
構築物減価償却累計額	4,239,275,011	1.9	3,947,662,658	1.8	291,612,353	7.4
器械及備品	66,121,221,627	29.9	64,933,377,840	29.5	1,187,843,787	1.8
器械及備品減価償却累計額	43,422,961,929	19.6	40,249,614,388	18.3	3,173,347,541	7.9
車両	85,251,302	0.0	83,720,992	0.0	1,530,310	1.8
車両減価償却累計額	58,632,398	0.0	49,175,718	0.0	9,456,680	19.2
建設仮勘定	546,490,007	0.2	2,925,843,490	1.3	2,379,353,483	81.3
無形固定資産	23,600,000	0.0	0	0	23,600,000	-
無形固定資産	23,600,000	0.0	0	0	23,600,000	-
投資	10,105,184,589	4.6	8,741,661,646	4.0	1,363,522,943	15.6
不動産信託受益権	19,000,423,856	8.6	16,165,115,876	7.3	2,835,307,980	17.5
不動産信託仮勘定	10,832,344,317	4.9	9,464,997,280	4.3	1,367,347,037	14.4
その他投資	1,937,105,050	0.9	2,041,543,050	0.9	104,438,000	5.1
流動資産	36,683,432,364	16.6	35,541,457,111	16.1	1,141,975,253	3.2
現金預金	10,392,183,100	4.7	9,422,938,665	4.3	969,244,435	10.3
現金	125,149,590	0.1	108,715,919	0.0	16,433,671	15.1
預金	10,267,033,510	4.6	9,314,222,746	4.2	952,810,764	10.2
未収金	25,244,449,274	11.4	25,067,308,693	11.4	177,140,581	0.7
医業未収金	18,540,248,340	8.4	17,048,856,354	7.7	1,491,391,986	8.7
医業外未収金	6,680,860,618	3.0	7,989,654,258	3.6	1,308,793,640	16.4
未収消費税還付金	6,835,200	0.0	0	0	6,835,200	-
その他未収金	16,505,116	0.0	28,798,081	0.0	12,292,965	42.7
貯蔵品	1,044,491,545	0.5	1,051,084,783	0.5	6,593,238	0.6
材料	1,002,135,732	0.5	988,874,327	0.4	13,261,405	1.3
その他貯蔵品	42,355,813	0.0	62,210,456	0.0	19,854,643	31.9
その他流動資産	2,308,445	0.0	124,970	0.0	2,183,475	-
前払金	2,308,445	0.0	124,970	0.0	2,183,475	-
繰延勘定	4,417,728,235	2.0	4,341,325,899	2.0	76,402,336	1.8
控除対象外消費税額	4,417,728,235	2.0	4,341,325,899	2.0	76,402,336	1.8
控除対象外消費税額	4,417,728,235	2.0	4,341,325,899	2.0	76,402,336	1.8
資産合計	221,317,815,347	100	220,113,548,133	100	1,204,267,214	0.5

(単位:円)

科 目	平成 13年度		平成 12年度		増 ( ) 減	
	金 額 (A)	構成比 (%)	金 額 (B)	構成比 (%)	金 額 (C)	増減率 C/B×100
固定負債	1,030,263,053	0.5	1,030,263,053	0.5	0	0
引当金	1,030,263,053	0.5	1,030,263,053	0.5	0	0
退職給与引当金	289,637,000	0.1	289,637,000	0.1	0	0
修繕引当金	740,626,053	0.3	740,626,053	0.3	0	0
流動負債	16,471,195,456	7.4	13,044,624,746	5.9	3,426,570,710	26.3
未払金	16,470,747,045	7.4	13,036,793,432	5.9	3,433,953,613	26.3
医業未払金	9,086,481,411	4.1	8,230,706,671	3.7	855,774,740	10.4
建設改良未払金	5,556,226,705	2.5	2,536,516,475	1.2	3,019,710,230	119.0
貯蔵品購入未払金	1,824,261,032	0.8	1,886,786,261	0.9	62,525,229	3.3
未払消費税及地方消費税	0	0	38,114,300	0.0	38,114,300	100
過誤納還付金	3,410,597	0.0	6,769,425	0.0	3,358,828	49.6
その他未払金	367,300	0.0	337,900,300	0.2	337,533,000	99.9
その他流動負債	448,411	0.0	7,831,314	0.0	7,382,903	94.3
預り金	448,411	0.0	7,831,314	0.0	7,382,903	94.3
負債合計	17,501,458,509	7.9	14,074,887,799	6.4	3,426,570,710	24.3
資本金	197,698,086,929	89.3	196,852,117,187	89.4	845,969,742	0.4
自己資本金	68,955,280,622	31.2	64,663,723,836	29.4	4,291,556,786	6.6
借入資本金	128,742,806,307	58.2	132,188,393,351	60.1	3,445,587,044	2.6
企業債	128,742,806,307	58.2	132,188,393,351	60.1	3,445,587,044	2.6
剰余金	6,118,269,909	2.8	9,186,543,147	4.2	3,068,273,238	33.4
資本剰余金	5,868,957,050	2.7	4,894,986,361	2.2	973,970,689	19.9
受贈財産評価額	3,196,878,364	1.4	2,247,907,814	1.0	948,970,550	42.2
国庫補助金	2,418,753,777	1.1	2,393,753,638	1.1	25,000,139	1.0
その他資本剰余金	253,324,909	0.1	253,324,909	0.1	0	0
利益剰余金	249,312,859	0.1	4,291,556,786	1.9	4,042,243,927	94.2
当年度未処分利益剰余金	249,312,859	0.1	4,291,556,786	1.9	4,042,243,927	94.2
資本合計	203,816,356,838	92.1	206,038,660,334	93.6	2,222,303,496	1.1
負債・資本合計	221,317,815,347	100	220,113,548,133	100	1,204,267,214	0.5

(別表3) 病院別医業収益・費用の対前年度比較

(単位：百万円、%)

区 分	医 業 収 益				医 業 費 用				医 業 収 益 医 業 費 用 × 1 0 0		
	平成13年度 (A)	平成12年度 (B)	増 ( ) 減		平成13年度 (D)	平成12年度 (E)	増 ( ) 減		平成13年度 (G=A/D)	平成12年度 (H=B/E)	増 ( ) 減 (I=G-H)
			金 額 (C=A-B)	率 (C/B)			金 額 (F=D-E)	率 (F/E)			
普通病院	84,587	83,090	1,497	1.8	115,906	112,992	2,914	2.6	73.0	73.5	0.5
広尾	6,381	6,594	213	3.2	10,089	9,808	281	2.9	63.2	67.2	4.0
大久保	5,395	5,433	38	0.7	10,572	10,401	171	1.6	51.0	52.2	1.2
大塚	8,799	9,000	201	2.2	11,419	11,269	150	1.3	77.1	79.9	2.8
駒込	15,199	14,473	726	5.0	19,274	18,642	632	3.4	78.9	77.6	1.3
豊島	6,024	5,883	141	2.4	9,776	9,525	251	2.6	61.6	61.8	0.2
荏原	8,718	8,579	139	1.6	11,231	11,360	129	1.1	77.6	75.5	2.1
墨東	15,819	15,298	521	3.4	20,466	19,402	1,064	5.5	77.3	78.8	1.5
府中	14,955	14,652	303	2.1	17,553	17,150	403	2.3	85.2	85.4	0.2
神経	3,292	3,175	117	3.7	5,523	5,430	93	1.7	59.6	58.5	1.1
小児病院	6,383	6,363	20	0.3	9,002	8,903	99	1.1	70.9	71.5	0.6
清瀬	4,588	4,584	4	0.1	6,392	6,311	81	1.3	71.8	72.6	0.8
八王子	1,795	1,779	16	0.9	2,610	2,592	18	0.7	68.8	68.6	0.2
精神病院	7,966	7,966	0	0	13,632	13,403	229	1.7	58.4	59.4	1.0
松沢	6,646	6,620	26	0.4	10,659	10,494	165	1.6	62.4	63.1	0.7
梅ヶ丘	1,320	1,346	26	1.9	2,973	2,909	64	2.2	44.4	46.3	1.9
母子保健院	1,745	1,810	65	3.6	2,355	2,417	62	2.6	74.1	74.9	0.8
本 部	0	0	0	-	916	3,002	2,086	69.5	-	-	-
合 計	100,683	99,230	1,453	1.5	141,814	140,720	1,094	0.8	71.0	70.5	0.5